

情報学群実験第 1 第 2 回演習課題

1260277 浅野友哉

2023 年 5 月 30 日

プログラムにおいて、指定されたものを除きエラー処理を、ほぼ書かなかった。どれだけ自分が見ても他人が見ても、あとから読みやすいか・流用しやすいかを重視して、プログラムを作成した。

なので意図しない入力により、不正な動作が起こる可能性が多々ある。また、バグと見分けがつかないこともある（あった）。

自販機

VendinMachine.java において、ドリンクを登録する配列と、ストック数を記録する配列が別の配列にすることがとても気に入らなくて map 型の配列を作ろうとした。しかし、仕様書の指定と違う書き方をしないといけない箇所がたくさん出てくるようだったので断念した。

配列では 0 番を使用しないことで、stock の入力をそのまま添え字に対応できるようにした。

Study02.java において、標準入力からの読み込みでそのままメソッドに渡すのではなく、変数を介して別のプログラムに足せるようにした。